

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年12月7日(2006.12.7)

【公開番号】特開2006-150105(P2006-150105A)

【公開日】平成18年6月15日(2006.6.15)

【年通号数】公開・登録公報2006-023

【出願番号】特願2006-59799(P2006-59799)

【国際特許分類】

A 6 1 B 19/00 (2006.01)

B 2 5 J 1/00 (2006.01)

A 6 1 B 17/28 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 19/00 5 0 2

B 2 5 J 1/00

A 6 1 B 17/28

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月20日(2006.10.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも2自由度を有しており作業対象物に接触する作業部と、
術者が把持可能な第1の操作部と、

前記第1の操作部に取り付けられ、前記作業部の前記2自由度方向の動作を制御するための第2の操作部と、

一端側に前記作業部が接続され、他端側に前記第1の操作部が接続され、前記作業部を少なくとも2自由度方向に駆動するための駆動力を発生する複数のモータを有する駆動力発生部と、

前記第1の操作部に取り付けられ、前記第2の操作部とは異なる方向に前記作業部の動作を制御するための第3の操作部と、を具備し、

前記第2の操作部は、

それぞれが前記第1の操作部の長手方向に沿って設けられ、それぞれが前記作業部の前記2自由度方向の少なくとも一方向の動作を制御可能で、前記術者が前記第1の操作部を把持した方の手の指で操作を行うための第1および第2のダイヤルを有し、

前記第1のダイヤルは、その回転方向が前記第2のダイヤルの回転方向とは直交する向きに配置されることを特徴とする医療用マニピュレータ。

【請求項2】

前記第1の操作部の一端側に配置されて術者が把持する把持部を有し、

前記第1および第2のダイヤルは、前記第1の操作部の他端側に配置されることを特徴とする請求項1に記載の医療用マニピュレータ。

【請求項3】

前記第1のダイヤルは、前記第2のダイヤルよりも前記第1の操作部の他端に近い側に配置され、

前記第1のダイヤルの回転方向は、前記第2の操作部の短手方向に略平行であり、

前記第2のダイヤルの回転方向は、前記第2の操作部の長手方向に略平行であることを

特徴とする請求項 2 に記載の医療用マニピュレータ。

【請求項 4】

前記第 1 の操作部は、

前記作業部が接続されるとともに、前記第 3 の操作部が取り付けられる第 1 面と、

前記第 1 面の反対側に配置され前記第 2 の操作部が取り付けられる第 2 面と、を有することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の医療用マニピュレータ。